

新刊紹介

なんと
『楠都』（万日山の誓い・熊本の光と影の青春）第一巻～第六巻 文庫本

◎著者：森山光成 ◎各巻1300円から1800円 ネットに各種情報あり

熊本で成長した、爽やかな青年、秀彬の魂の軌跡、人生と芸術、愛と性を描く著者渾身の長編小説全六巻
なんと第六巻では66ページにわたり「日本の古代史」と題して東日流外三群誌関係の記述、安日彦、長髄彦、アラノバキ神、山靡堆国、耶摩馬台国、佐怒の命の東征、東日流王国の成立など多方面の考査が記されている。安彦氏や藤本氏・竹田氏・玉川氏にも言及。

著者は東京古田会・会員・那須塩原市在住で、森山光成はペンネーム。

かねてより大作を執筆中ときく。その正体が判明した。人間の根源を描き切りたいと、引き続き中年編にも着手、次の物語篇『楠都』は最初英語→仏・独・伊・韓国語等に翻訳。ナレーション版、Kindle版、漫画化を準備中。全編を読み切るには少々視力、体力がいるかもしれませんが『楠都』の世界を覗いて見てください。新版の、長いまま「筋の流れを重視した物語篇」は、秋に出版予定。在米の最終翻訳監修者も決定、題名の由来は「熊本県の木・クスノキ」。五月、この地方に生い茂る楠の花の香り流れる熊本を「楠都・クスノキの都」と命名した秀彬です。秀彬の臨死体験、麗しい女性達との愛の姿、「万日山の誓い」の人生。

